

# 第36回「議員と語りかい」報告書

文教厚生常任委員会 (No.1)

開催日	令和 3 年 7 月 2 8 日 (水) 午後 2 時 3 0 分 ~ 午後 4 時		
開催場所	霧島市役所 議会棟 4 階 第 3 ・ 4 委員会室		
団体名	霧島市社会保障推進協議会	参加人員	6 人 (男 5 人 : 女 1 人)
出席議員	平原 志保、鈴木 てるみ、山田 龍治、仮屋 国治、新橋 実、 植山 利博、下深迫孝二、宮内 博		
役割分担	班 長 (平原 志保) 副班長 (鈴木 てるみ) 記録係 (鈴木 てるみ)		
テーマ及び具 体的な内容	新型コロナウイルスワクチン接種の問題点と改善策について 新型コロナウイルスワクチン接種に関する、市民や病院から寄せられた現在の 状況と、問題点や改善策について意見交換。		

意見 交 換 で の 主 な 意 見 等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	<p>あらかじめ提出された質問に対し、保健福祉部より聞き取りをして委員長が回答した。</p> <p>◆集団接種と個別接種の割合について ◇集団接種 8,712 人 約 15.3% 個別接種 48,168 人 約 84.7%</p> <p>◆職域接種の状況について ◇職域接種は 4 事業所が予定しているとのこと</p> <p>◆接種薬剤の種類 (入荷薬品) とその確保見込みについて ◇今後 2 週間ごとファイザー製が 10 箱ずつ 職域はモデルナ製</p> <p>◆65 歳以上の接種希望者が全員受けられているか、状況と対策は ◇加速化事業で民生委員、市社協、関係団体の協力を得て、未接種者の対応に取り組んでいる。</p> <p>(この他にも専門的な質問があった)</p>

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

意見交換での主な意見等

◆高齢者の未接種者へは加速化事業で推進していくとのことだが、受けたかどうか民生委員が知るの個人情報問題ではないか。

◇民生委員には守秘義務があり、遵守していただいていると考える。加速化事業で未接種者のうち 386 人の調整ができた。

◆当院でも 64 歳以下の予約を受け付けていたが、市よりワクチンの入荷量が少なくなると連絡があり予約を受けられない状況にある。

◇市の HP でも入荷状況を載せている。今後、64 歳以下の市民の接種が本格化することに対応するため、6 月 25 日に対策課を設けた。

◆64 歳以下は混乱を防ぐため年齢区分で段階的に接種券を送付するべきではないか。

◇年齢区分について市の説明は以下の通り。

「19～64 歳の 67,000 人の市民が、集団接種と職域接種での接種を受けると 27,000 人が残ると予測する、それらの人が個別接種で受けると混乱は避けられると見ている。よって年齢別の接種は行わない。」

◆重篤な副反応の人がいたのか。

◇市ではそのような報告は無い。

◆副反応については救済制度がある。任意接種である以上情報提供はちゃんとしていただきたい。12 歳未満は受けられないので大人が早く受けて子供を守るべきである。

◇不安を感じている妊婦さんがいる、医療機関は勧奨を緩やかにお願いしたい。

◆基本的には妊婦さんにも勧めているがあくまでも任意接種である。受けた場合のメリットを丁寧に情報発信した方がいい。今日の話合いで互いの認識が深まったと思う、これを機に霧島市の健康対策が深まることを願う。